

一般社団法人 日本聴覚障害ソーシャルワーカー協会

2023年度事業計画書

1 全体方針・事業計画 (2023年4月1日～2024年3月31日)

2023年度は引き続き新型コロナウイルス感染症のリスク対策を行いつつ、2023年度事業についても対面とオンライン形式での開催の検討をしている。

2023年度「聴覚サポートなかま事業」については、2022年度予算繰り越し分の事業費を運用する形での活動となる。そのため協会収入は会費収入のみになり、今後の事業運営・規模等を再検討していく課題の一年となる。

(1) 研修事業について

2023年度研修会

本年度は、オンライン活用、実施回数の増を目標に、事例研究や勉強会などを実施できるようにしたい。会員の中から、自分の地域で検討したいといった要望を引き出し、それに答えられるような内容にしたい。

目標としては、

- ・ソーシャルワークのレベル向上を目指して社会福祉士会、精神保健福祉士協会主催の基礎研修の受講を勧め、連携する研修体制を目指す。
- ・会員からの要望を踏まえて、会員ネットワーク作り、地域別の研修、地域で継続支援する体制づくりの研修、オンライン研修の機会を増やすなど、実施できるように目指す。

(2) 総務報告

①他団体との連携・普及啓発

・一般座板法人 全日本ろうあ連盟、非営利活動法人全国聴覚障害者情報提供施設協議会、

公益社団法人 日本社会福祉士会 公益社団法人 日本精神保健福祉士協会

②HP・メーリングを活用した情報発信

- ・会員メーリング活用工夫・寄稿等
- ・オンライン交流

③講師派遣活動

(3) 全国聴覚障害者相談支援事業「聴覚サポートなかま(以下、「なかま」)」

2023 年度の「なかま」は日本財団への助成申請が通らなかったため、前年度の延長分の予算の範囲内で進めていくことになる。したがって、2022 年度の事業計画にあった重点地域 3 か所の情報提供施設の相談支援事業の充実化に向けた支援内容を見直した。

結果、3 か所の了承を得て、各地域が抱える個別の困難事例に係る SV の要請があった場合のみ無償の派遣を実施していく予定である。

「なかま」が派遣するワーカーは地域での継続的な関りが難しい。そのため、できることは各地域の相談支援員等が抱える困難事例を受付け、一緒に考え、機関連携や資源開拓の助言等を行う側面的サポートとなる。今年度は手当減給・交通費等経費節減のため近隣地域に居住する役員がその任を担う。

一方、当初予定していた前年度の研修のフォローアップのための研修会企画は、重点地域 3 か所から開催の要請があれば、有償にて講師を斡旋する予定で進めていく。これに関しても 3 か所のセンターの了承を得ており、引き続き当会は各地域の相談支援事業の充実化に力を注いでいきたく、必要に応じて当会会員のご協力をお願いしていきたい。

理事会開催実施・予定日

2023 年度

4 月 30 日(土) オンライン理事会

6 月 3 日(土) オンライン理事会

7 月 30 日(日) 東京

